

令和 7 年度 学校経営計画書

学校番号	5 6	学 校 名	静岡県立掛川東高等学校	校 長 名	邑田 聡一
------	-----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

校訓「清く、明るく、正しく、強く」のもと、礼儀正しく誠実な人物を輩出する小笠掛川地区に位置する普通科単位制の伝統校として、自律と自立を重んじ、多様性を認め、「主体的・対話的で深い学び」を実践する教育活動を通して、探究する姿勢を身につけ、人生を主体的に創造し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
本校では卒業までにこのような力を身に付けます 人生を主体的に創造し、地域の幸福を追求できる人材として必要な、自律と自立の力 ・【自律】他者への配慮ができ、自らをコントロールし、規則やモラルを守る力 ・【自立】主体的に考え自ら行動し、社会と調和して多くの者の幸福を追求する力	本校ではこのような学びを行います 未来の創造と社会の幸福の実現に向け、四年制大学を始めとする生徒の多様な進路希望を達成するための学び ・ICT を効果的に活用した授業による主体的・対話的で深い学び ・総合的な探究の時間や特別活動の中で、生徒が主体となって外部と連携して取り組む学び	本校ではこのような生徒を求めています ・自己はもちろんのこと多様な他者の存在を尊重する生徒 ・主体的に学び、行動しようとする生徒 ・地域や社会の幸福を願い、課題を探究する生徒 ・礼儀を重んじ、誠実であろうと努める生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と品性を養う。
- イ 主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる力を身につける。
- ウ 社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する姿勢を身につける。
- エ 集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合い、たくましい心身と豊かな感性を身につける。
- オ 学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校づくりに努める。
- カ 教職員が働きやすい職場をつくり、教育活動の質の向上を図る。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と品性を養う。	・教職員による「自律と自立」を後押しする生徒への接し方、「自律と自立」について考える LHR、学期末に行う振り返り等を通して、生徒の意識高揚を図る。	・『自律と自立』の意味について考え、行動することができた」と答える生徒 80%以上	全教職員 生徒課
		・教職員と生徒、ともに時と場をわきまえた丁寧な言葉遣い、清潔感のある身だしなみを心がける。	・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒 95%以上	全教職員 生徒課
		・生徒会活動等を通し、ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラルを守る意識を養う。	・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラルを守ることができた」と答える生徒 80%以上	生徒課 保健相談課
		・ノーチャイムを通じて、次の予定を考え、時間を見て行動する力を育成する。	・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒 80%以上	全教職員 生徒課
		・電子、紙媒体等に自己の行動記録をとらせ、日常生活から主体的な姿勢を育む。	・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒 50%以上	学年 担任

様式第 1 号

イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる力を身につける。	・教員が相互に授業見学を行い、多様な指導方法を学び、授業改善を推進する。 ・適切な課題を設定し、家庭で学習する習慣の定着をはかる。 ・ICTを活用した授業を展開し、生徒の学力の向上をはかる。 ・学びの基礎診断等を活用し、学習方法、学び方に対するアドバイスを行う。 ・情報セキュリティ意識を高め1人1台端末を有効に活用できる環境整備と生徒及び教員の積極的な利用を推進する。 ・3年間を見据えた総合的な探究の時間の指導方法を検証し、生徒の探究する資質能力を育てる。	・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員 80%以上 ・「週5日以上自主学習に取り組めた」と答える生徒 60%以上 ・「授業がわかり、学力が伸びている」と答える生徒 75%以上 ・学習方法、学び方の改善を生徒に助言した教員 80%以上 ・「情報セキュリティを意識した活用を心掛けた」と答える生徒 90%以上 ・ICTを活用する授業を行う教員 90%以上 ・計画を実行していく中で、内容についてその都度検証し、必要な見直しをする。	全教員 教務課 教務課 図書情報課 全教員 図書情報課 総合的な探究の時間 推進委員会
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する姿勢を身につける。	・職業観を育て、高校卒業後の進路を考える機会を設け、働くことの意味を考え、積極的に社会とかかわろうとする生徒を育成する。 ・「進路講座」「夢ナビ」「企業説明会」等を通して多様な進路を知るとともに、興味関心を広げ自己の可能性に挑戦する姿勢を育成する。 ・将来を見据え、模擬試験の受験科目を主体的に考え、進路選択の幅を広げる。 ・自己の可能性を切り開くために、模試や様々な検定に積極的に挑戦する生徒を育成する。	・「主体的に将来を考えた」と答える生徒 100% ・「本校の進路指導に満足している」と答える生徒 80%以上 ・進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員 100% ・各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上・	進路課 進路課 全教員 進路課 教科 進路課
エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合い、たくましい心身と豊かな感性を身につける。	・学校行事、HR活動、生徒会活動、部活動への積極的な参加を促し、生徒の主体性を高める。 ・健康、生命を大切にする指導及び人権教育を計画的、継続的に実施する。 ・魅力ある図書館づくり及び朝読書等により、本に親しむ機会を増やし読書量を増加させる。 ・積極的に社会に貢献する姿勢を育てるため、自発的活動の情報を発信する。	・「学校生活に満足している」と答える生徒 90%以上 ・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」と答える生徒 80%以上 ・授業を利用して外部の専門家による講演会を年間2回以上開催し、人権意識の向上を図る。 ・毎月1冊以上読書をした生徒及び教員 80%以上 ・「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」と答える生徒 80%以上	全教職員 生徒課 保健相談課 学年 担任 図書情報課 生徒課
		・学校外で高校生が参加できる活動・イベントの情報を伝え、社会に関わる活動への参加を促す。 ・PTA活動の内容を精選し、保護者が負担なく関わられるようにする。 ・授業、学校・学年行事、部活動の様子をホームページ等で広報し、地域の学校へ	・「進んでボランティア活動に参加できた」と答える生徒 50%以上 ・PTA行事等への参加率 50%以上 ・ホームページ等で情報発信を行った教職員 75%以上	生徒課 (関係部活動) 全教職員 (総務課) 全教職員

様式第 1 号

オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で地域から信頼される学校づくりに努める。	の理解を深める。 ・保護者等にアンケートを行い、学校経営の改善を行う。 ・C-ラーニングを活用して日々の出欠連絡及び事務連絡の効率化を進める。 ・大学や海外の学校とのオンラインなどを使った交流を年に3回以上行う。 ・教育相談、アンケート調査、スクールカウンセラーとの連携等により、生徒の心のケアを行とともに、生徒個々の情報を教職員で共有する。また生徒が相談できる教職員を自分で選べるようにする。 ・コンプライアンス研修を月例で行い、教職員全体で危機管理意識を高める。 ・財政負担を軽減し、教育環境の整備を進めるとともに、学校経営予算を適切に執行する。	・「掛川東高校の教育に満足している」と答える生徒及び保護者 75%以上 ・保護者及び生徒のC-ラーニングの登録率 100%、利用率 90%以上 ・校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 50%以上 ・「学校に信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・教職員の事故発生件数ゼロ ・施設に関する事故発生件数ゼロ ・監査等の指示・指摘事項ゼロ	図書情報課 全教職員 進路課 保健相談課 管理職 事務室
カ	教職員が働きやすい職場をつくり、教育活動の質の向上を図る。	・効率的な業務遂行に努め、会議等は勤務時間を厳守する。(NES 掲示板の有効活用) ・2分前の行動により生徒、教職員の時間に対する意識を高める。 ・生徒の一般下校時刻(17:45)、特別下校時刻(19:30)を守らせる。 ・各自が週1日の定時退勤日を定める。 ・部活動ガイドラインの趣旨を踏まえた活動を行う。 ・分掌、業務分担を平準化し、全教職員がチームとして業務を遂行する。	・設定された時間内での会議 80%以上 ・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す。 ・「下校時刻を守ることができた」と答える生徒 80%以上 ・週1回定時退勤できた教職員 70%以上 ・「趣旨を踏まえて活動できた」と答える教員の割合 100% ・負担感、多忙感が改善されたと答える教職員 50%	管理職 各課長 管理職 教務課 生徒課 全職員 全教職員 (管理職)